

(東京支部 HP 原稿)

東京支部の会員名簿について

柏陵同窓会には、本部をはじめ阪神・京滋・篠山・東海・東京の五つの支部があり、私ども東京支部は、静岡・長野・新潟各県以東の在住者など 1,100 余名から組織されています。

同窓会にとり 1,100 余名の名簿管理は大切で、支部の事務局は会員移動の情報を入手しますと可能な範囲で会員名簿の修正を行ないます。今回はそうした名簿管理の一端をご紹介します。

4 月の理事会を終えると、5 月には 1,100 余名の全会員に対し 7 月に開催される支部総会の開催案内等を郵送します。7 月の総会が中止になりました今年などは、書面総会に切り替えた資料をお送りしました。会員と支部役員を繋ぐ大切な役割で、理事の皆さまにお手伝いを頂く学年もあります。

資料を郵送し数日が過ぎると、「差出人不在」の封書が事務局の元に返送されて来ることがあります。そうした不在通知を受け取りますと、同期の方々などの伝手を辿り転居先の住所の把握に努め再送を試みます。残念ながら新しい住所に辿り着けない場合など、本年も 10 数件ございました。

また、最近亡くなられた会員のご家族からは、TEL にて会員さまの訃報のご案内を伺うこともあります。柏原高校での楽しかった学生時代や故郷丹波の思い出を懐かしくご家族に話されており、ご家族より TEL で伺いながらついつい貰い泣きをしてしましまうこともあります。ご家族にとり、会員様のこうした思い出を同窓生に伝えられる最後の機会になるのかもしれない、と思うと、出来るだけ真摯にお伺いするように努めています。

交通の発達により昔に比べ丹波との行き来は早くなりましたが、東京支部の会員にとりましての故郷を思う気持ちは同じで、故郷は遠きにありて思うもののようなのです。

尚、同窓会本部と連携し、新しい支部会員の名簿を個人情報に配慮しながら機会あるごとに更新しています。東京周辺にお住まいのご家族ご親族や同期の皆さまについてご存じであればご連絡ください。同窓会の輪を繋いで行きたいと思えます。

令和 3 年 8 月 9 日 東京支部支部長 谷 敬三